



調味料・加工食品事業

84%

セグメント別
売上高構成比率
(2012年3月期第2四半期)

総菜関連事業等

14%

その他の事業

2%

調味料・加工食品事業

売上高 21,724百万円

セグメント利益 825百万円

主な事業内容

調理加工食品(ポテト/ゴボウ/ツナ等を使用したロングライフサラダ等)、マヨネーズ・ドレッシング類、タマゴ加工品(厚焼き卵、タマゴサラダ等)の製造・販売

<調理加工食品>は、従来からの主力商品であるポテトサラダ、パスタサラダ、ゴボウサラダ、ツナサラダ等に加えて、春雨、パンプキン、豆等の素材を活かした商品や明太子を使用した商品が好調に推移し、特にゴボウサラダについては、製パン・外食・量販店向け等で伸ばいたしました。

<マヨネーズ・ドレッシング類>は、量販店向けの1kgや500g形態のマヨネーズが好調を維持し、大型形態のドラムやタンク、10kg形態のマヨネーズも引き続き伸ばしています。また、前期に設備投資を実施しました西日本工場の最新ライン製造のドレッシングも着実に育成が進んでおります。外食向けの商品が好調に推移したこともあり、前年同期比増収となりました。

<タマゴ加工品>は、製パン向けのタマゴサラダ、弁当・すし用の厚焼き卵、錦糸卵、茹で卵が大手コンビニエンスストアで採用されたことにより大幅な数量増加となりました。



総菜関連事業等

売上高 3,658百万円

セグメント利益 125百万円



主な事業内容

国内の連結子会社7社が行う事業。フレッシュ総菜(日配サラダ・惣菜)の製造及び量販店等への販売、ケンコーマヨネーズからの調理加工食品及びタマゴ加工品の生産受託事業

主要な原料である卵の価格が震災直後に高騰し、また野菜類の価格が台風の影響等により高騰しましたが、生産拠点の統合をはじめとしたコストダウンや経費削減対策を行うとともに、収益構造の分析に基づく商品政策を実施しました。



その他の事業

売上高 462百万円

セグメント利益 △4百万円



主な事業内容

ショップ事業(サラダカフェ・ショップ)及び海外事業

<サラダカフェ>は、阪神百貨店梅田本店(2011年3月)及びイトーヨーカドーあべの店(同年4月)に新規出店し、合計13店舗による市場演出型企業の実践を進め、webサイトとの連携により、その存在感をアップさせました。

<海外事業>は、中国市場における台湾企業との事業提携がスムーズに進捗し、杭州工場(マヨネーズ・ドレッシング類の製造)の建設は2012年1月稼働に向けて順調に進んでいます。



株主優待のご案内

Shareholder Generous Treatment

業務用メーカーとしてホテル・レストラン等各分野のプロから鍛えられ続けている当社マヨネーズ・ドレッシングの味を是非ご賞味下さい。毎年3月31日現在の株主名簿に記載されており、株主の皆様に対して、年1回、当社商品を贈呈いたします。



▶ 当社商品2,500円相当 (商品例)



▶ 当社商品1,000円相当 (商品例)

株主優待品

権利確定日：決算期末(毎年3月31日)現在の株主様に対して年1回
送付時期：毎年5月下旬～6月上旬

贈呈の基準	贈呈の基準贈呈品
10単元(1,000株)以上の保有株主様一律	当社商品2,500円相当
1単元(100株)以上10単元(1,000株)未満保有の株主様一律	当社商品1,000円相当

配当金・配当性向の推移

